

25mm

(※1行あける)

神戸高専の紀要に関するフォーマット (18ポイント)

(※1行あける)

神戸太郎* 高専次郎** . . . (12ポイント)

(※1行あける)

Format for Memoirs of Kobe City College of Technology (14ポイント)

(※1行あける)

Taro KOBE* Jiro KOSEN** . . . (12ポイント)

(※1行あける)

ABSTRACT . . . (10ポイント、ゴシック体)

(※1行あける)

150語程度の英文要旨を、10ポイント、Timesで書く。
この時、左右にはそれぞれ2文字程度の余白をとることを忘れないようにする。

(※1行あける)

Keywords: format, memoirs, reference, section . . . (※keywordsのみイタリック(斜文字))

(※1行あける)

2文字の余白
16mm

2文字の余白
16mm

1. はじめに

ここから、本文を書き始める。この時、章(チャプター)の見出しのみ、ゴシック体にする。本年度から、オフセット印刷となるため、執筆者はフォーマット等十分な注意を払うこと。

2. 章(チャプター)の分け方

章と章の区切りには、上記のように改行し、必ず1行あける。また、本文は、章の見出しを記述した行から、改行して書き始めること。

2.1 節(セクション)について

セクションの見出しには、上記のように「.」を用いた節番号をつける。このとき、セクションの本文は、セクションの見出しを記述した行から改行せず、2文字あけて書き始めること。下記のように、見出しでその行のほとんどが埋める場合は、改行して本文を書き始めても構わない。

2.2 節(セクション)を更に細かく分ける場合

更に細かく分けられた節には、適当な見出しは必要であるが、その記述の方法や使用するフォントは、著者の見解に委ねることとする。例として、「2.2.1」、「2.2.2」や(a), (b), (c)など。

3. 図や表について

右段のように、図や表を記載すること。通し番号と説明文は、図の場合は下部、表の場合は上部に記載。

* 一般科 教授
** 専攻科 電気電子工学専攻

↑ 所属はここに記述する。

24mm

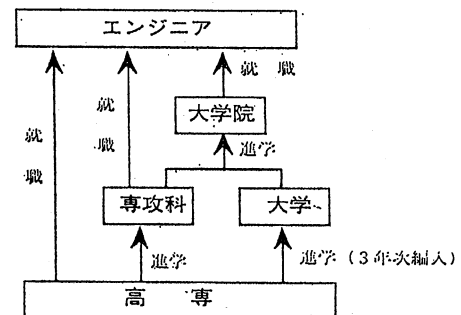


図1 高専卒業からエンジニアまでの経路

表1 投稿紀要のフォーマット

フォーマット	段組、文字・行数/1ページ	文字の大きさ	制限枚数
1. 和文(横書)	2段組, 24文字×50行	10ポイント	原則として、6ページ以内でまとめること。
2. 英文	2段組, 48文字×50行	10ポイント	
3. 和文(縦書)	2段組, 33文字×32行	10ポイント	超過の場合は10ページ以内、それ以上は認めない。
4. 和文、英文(横書特別)	1段組, 48文字×46行 1段組, 96文字×46行	10ポイント	

4. まとめ

本年度より、オフセット印刷となるため投稿規定が変更されている。この印刷法では、投稿者が提出した原稿がそのまま写真製版用原稿として用いられるため、決められた規定には十分注意を払って原稿を作成して頂きたい。

神戸高専研究紀要を、より充実したものにするため、みなさまのご協力をお願い致します。

参考文献

(1) 研究振興委員:「神戸高専研究紀要 投稿規定」, 神戸高専研究紀要, 第37-2号, pp.75-78, 1999